

令和元年 宮城県内の火災概況（速報値※）

※総務省消防庁へ報告された火災情報を集計、確定値は例年8月頃に公表されます。

（平成31年1月1日から令和元年12月31日まで）

1 出火件数

令和元年の宮城県内の総出火件数は654件で、前年（650件）に比べ4件（0.615%）増加し、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は2.84で、前年（2.81）に比べ0.03ポイント増加しました。1日当たりの出火件数は、平均で1.79件になります。

月別に見ると、4月の出火件数が91件（全体比13.91%）で最も多くなっています。また、四季別では昨年に引き続き冬期から春季にかけて火災が多く発生しています。

表1 月別出火件数

区分	月別出火件数												総出火件数	出火率	1日当たり出火件数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
令和元年	57	59	77	91	59	34	40	50	32	41	57	57	654	2.84	1.79
平成30年	56	51	89	83	46	46	47	43	31	46	49	63	650	2.81	1.78
増減件数	1	8	△12	8	13	△12	△7	7	1	△5	8	△6	4	—	—

（※出火率：人口1万人当たりの出火件数）

表2 四季別出火件数

区分		四季別出火件数				合計
		春季	夏季	秋季	冬季	
令和元年	件数	227	124	130	173	654
	全体比（%）	34.7	19.0	19.9	26.5	100
平成30年	件数	218	136	126	170	650
	全体比（%）	33.5	20.9	19.4	26.2	100

春季3～5月，夏季6～8月，秋季9～11月，冬季12～2月

図-1 月別出火件数（令和元年・平成30年）

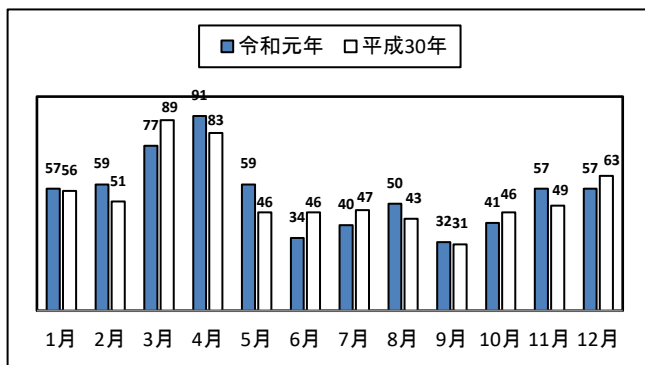
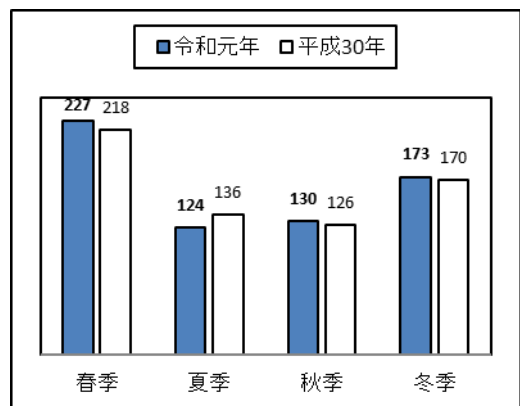


図-2 四季別出火件数



2 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 356 件（54.4%）と最も多く、次に車両火災 79 件（12.1%）、林野火災 33 件（5.0%）と続いています。

表 3 火災種別出火件数

区分		火災種別出火件数						合計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
令和元年	件数	356	33	79	0	0	186	654
	全体比（%）	54.4	5.0	12.1	0.0	0.0	28.4	100
平成30年	件数	369	16	78	0	0	187	650
	全体比（%）	56.8	2.5	12.0	0.0	0.0	28.8	100
増減件数		△ 13	17	1	0	0	△ 1	4

3 出火の原因

出火の原因の第 1 位は「たばこ」の 64 件、以下「放火」の 53 件、「電灯・電話等の配線」の 38 件、「こんろ」の 37 件、「放火の疑い」の 27 件の順となっています。

表 4 出火原因別一覧表

順位	出火原因	件数	火災種別内訳					
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1	たばこ	64	33	4	4	0	0	23
2	放火	53	25	0	5	0	0	23
3	電灯・電話等の配線	38	26	0	1	0	0	11
4	こんろ	37	34	0	2	0	0	1
5	放火の疑い	27	16	0	2	0	0	9
6	配線器具	26	20	0	3	0	0	3
7	火入れ	24	2	8	0	0	0	14
8	たき火	23	5	2	0	0	0	16
10	ストーブ	22	22	0	0	0	0	0
10	排気管	22	1	0	21	0	0	0

4 死傷者

火災による死者は 27 人（うち放火自死者 10 人）で、前年（26 人）に比べ 1 人増加しました。また、負傷者は 96 人で、前年の 134 人に比べ 38 人減少しました。

5 火災損害額

火災による損害額は 1,279,615 千円で、前年（1,545,862 千円）に比べ 266,247 千円減少しました。